



お知らせ

## 伊藤忠記念財団 子ども文庫助成の募集要項配布

伊藤忠記念財団の、2022年度子ども文庫助成の募集要項が発表されました。主な内容は次のとおりです。

### 子ども文庫助成事業プログラムと募集対象

#### ①子どもの本購入費助成(助成金 30万円)

子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会等で、3年以上の活動歴がある団体、および個人。

#### ②病院・施設子ども読書活動費助成(助成金 30万円)

病院内で療養中の子どもたち、障害児施設、養護施設等の子どもたちに対し、読書啓発活動を行う、3年以上の活動歴がある読書ボランティア団体及び非営利団体等。

#### ③子どもの本 100冊助成(当財団が選んだ児童図書セット)

子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会等で、既に読書啓発活動を行っている団体。

#### ④子ども文庫功労賞(賞金、記念品)

読書啓発活動に長年(20年以上)関わられてきた個人で、子どもの読書活動に貢献されてきた方。  
(他薦に限ります)

**応募締め切り 6月20日(月) 当日消印有効**

2022年度子ども文庫助成の募集要項詳細はこちら(<https://www.itc-zaidan.or.jp/topics/detail/376>)

ご報告

## 第41回 児童図書館員養成専門講座 (後編)

昨年、当館職員が「第41回児童図書館員養成専門講座」(主催:公益財団法人日本図書館協会)を受講しました。前編・中編・後編に分けて掲載しました受講報告は、今回で最終回となります。

【後編】全15日間の講座を終えて一番感じたことは、児童サービスの業務には、まずは表向きの技術ではなく、理念をしっかりと持つことが必要だということです。「読み聞かせの際に絵本をどう持つか」などの方法は、児童サービスの理念や目的を理解した上でないと形だけのものになってしまうと思います。公共図書館司書は、異動が不可避です。児童サービスの仕事を引き継ぐとき、業務の手順はマニュアルで伝えることができますが、理念を伝えるのは難しいと感じます。それでも、日ごろから、こどもたちと向き合う姿勢を見せたり、サービスの意義について話したりしていくことで、伝えることができるのではないかと思います。また、自分が講師をする際にも、「なぜ児童サービスを行うのか」から説明しないといけないと感じました。

これまでは、「果たしてこれでいいのだろうか」という不安な思いで、目の前の仕事をこなしていました。しかし研修を受けたあとは、業務の必要性が理論に裏付けされ、今までよりも自信をもって仕事ができるようになりました。できることなら今後も、児童サービスの担当となった職員には、この講座をぜひ受講してもらいたいと思います。専門講座について(<https://www.jla.or.jp/committees/jidou/tabid/275/Default.aspx>)

## 新刊案内

『補聴器をつけたらどうなるの?』 ハリエット・ブランドル/作, 中野 泰志/総合監修, 田中 美郷/監修, 芦野 聡子/監修 496.6/万円 ほるぷ出版

「からだとはたらくどうぐたち」というシリーズのなかの 1 冊。耳から伝わってくる音は、耳がうまくはたらかないと聞こえにくいことがあります。聞こえにくさも人によって違うので、補聴器はその人にあったものを作ります。そんな補聴器の種類と、作るための検査、つけてからの生活などをわかりやすく紹介しています。

同じシリーズに『車いすにのったらどうなるの?』『メガネをかけたらどうなるの?』などもあります。

## 5月の行事

ぴった～あかちゃんのおはなしかい～ (毎週土曜日) 5月7日、14日、21日、28日 10:00～10:20 2階 こども読書コーナー	おはなしのじかん (毎週土曜日) 5月7日、14日、21日、28日 10:30～11:00 2階 こども読書コーナー
ストーリーテリング勉強会(毎月第2水曜日) 5月11日(水) 9:30～11:30 4階 集会室	子どもの本の読書会(毎月第2木曜日) 5月12日(木) 10:00～11:30 4階 集会室 5月の課題図書:『春の日や庭に雀の砂あひて E.J.キーツの俳句絵本』 (リチャード・ルイス/編、エズラ・ジャック・キーツ/絵、 いぬい ゆみこ/訳 偕成社)
ちいさいひとたちのための絵本とおはなしにであう会 テーマ:『なにかな なにかな』 5月18日(水) 10:30～11:00 2階こどもコーナー おはなしのへや	

上記の行事は、いずれもオーテピアで行います。【申込み・参加費は不要】

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、今後の行事も変更・中止となる場合があります。

行事の変更・中止については、オーテピアのウェブ・サイトにてお知らせしますので、ご確認ください。

## 伝言板

伝言板では、こどもと読書に関する催し物などを掲載します。次号のSariSari通信伝言板への掲載を希望される場合は、オーテピア高知図書館児童サービス担当まで前月15日までにお知らせください。  
TEL 088-823-4946(代表) 088-802-6023(こどもコーナー) FAX 088-823-9352